



今週になって、急に気温が下がりました。先週までの残暑と打って変わっての気候の変化に、体調を崩しやすくなります。睡眠と栄養をしっかりとって、この季節の変わり目を元気に過ごせるようにしましょう。

## 「さいごまでがんばるぞ ゆうき ほんき運動会」応援ありがとうございました

10月1日(土)は、少し暑いくらいの晴天の中、無事に運動会を行うことができました。コロナ禍ではありましたが、感染対策を講じ、種目を工夫しながら、全園児での運動会ができたことを本当に嬉しく思っています。夏休みが明けた9月から、クラスでそれぞれの遊びから種目を考えて楽しんだり、年長児はリーダー活動やオープニング、リレーなど、たくさんの方に意欲的に取り組んだりして、日に日に運動会への“本気な気持ち”が高まって当日を迎えました。おうちの人が見てくださっている中で緊張感と、“楽しみだな、頑張るぞ”という高揚感が感じられたオープニング、元気いっぱいのかっこ、友達との楽しい遊びが思い浮かぶクラス競技、チームに分かれて自分の持ち球をかごに入れる玉入れ、おうちの人との触れ合いが嬉しくて仕方ない親子競技、年長児のリレー、どの競技も自分の力を精いっぱい出したり、笑顔で楽しんだりする姿が見られました。特に最後のリレーは、「おねがいね」「まかせて」と気持ちをバトンでつなぎ、一人一人の“ほんき”“やるぎ”が合わさってチームの力となり、最後までかいっぱい走りぬく姿は圧巻でした。また、競技だけでなく、走る前の返事や名前を言う声が大きかったり、応援席で他学年を応援したり、玉入れやリレーで自分のチームを応援したりする姿も素敵でした。

運動会に向かう活動や運動会当日を通して、子ども達は「自分の力を出し思う存分体を動かす心地よさ」「友達や異年齢の友達と一緒に取り組む楽しさ」「負けたり思うようにいかないこともあったけど、気持ちを切り替えたり、友達と一緒にだから頑張れたりしたこと」などたくさんを経験し、一回りも二回りも大きくなっていくのではないのでしょうか。

保護者の皆様からの感想でも、「すべての競技において、一生懸命走り取り組むすがたはもちろん、友達に手をたたきながら大きな声で応援する姿も見られ、素晴らしいなと思いました」「抜かれても、玉が入らなくても、笑って最後までやり切っていました」「自分のチームに声援を送っていて、皆で丸となって一つのものを目指しているという運動会の醍醐味を感じ取っていました」「我が子は年少ですが、年中・年長さんの競技をキラキラした目で応援していたので、たくさんの刺激をもらって成長したと思います」・・・等、たくさんの子どもの成長や素敵なお姿が書かれていました。

保護者の皆様には、コロナ対策へのご理解とご協力、子ども達の健康面への配慮など、たくさんの支えをいただきました。ありがとうございました。

役員・委員の皆様には、当日の準備や競技中のお手伝いをいただきありがとうございました。



「年長児のかっこ」



「年中クラス競技 虫取り」



「年少親子競技」



「異年齢混合チームでの玉入れ」

## 運動会後の様子

運動会を終えた4日(火)、全園児活動の「ぐんぐんタイム」で、運動会で行ったオープニングと体操をしました。相変わらずオープニングは素敵でしたが、年長児は当日よりも若干手が伸び切っていなかったり、手をたたいたり回ったりするタイミングがズレたりする姿が目立ちました。やはり、年長児にとっては当日に気持ちのピークがあり、やり切った満足感があったので、当然の現象なのかもしれませんね。年中児は、年長児のリレーに憧れていて、さっそく好きな色のバトンを持って友達とチームを組み、トラックを走ったり、バトンパスをする楽しさを味わっています。

年少児は、年中・年長児の競技に興味をもち、用具が使いたくて仕方がなかったようです。担任の「運動会が終わったら貸せてもらおうね」の言葉を守り、運動会後のこの日、早速用具を借りて、キャタピラーで転がったり、カラーポリ袋を持って風を感じて走ったり、虫取りの競技を喜んだり・・・。憧れの用具を使って『運動会ごっこ』を楽しんでいます。

オープニングの曲をかけると、年中・年少児共に、さっと年長児のポンポンを持って、年長児の踊りをほぼほぼ完璧に覚えていてビックリ!!それはそれは楽しそうに踊っていますよ。

運動会でやり切った次の活動へ進む年長児、憧れのリレーをしながら、自分達運動遊びへと挑戦していく年中児、初めての運動会を経験し、すべての競技をやってみたくてその楽しさを存分に楽しむ年少児。どの学年も、運動会を通してたくさんの学びをしています。



「リレーをしよう(年中児)」「踊り、カッコいいでしょ(年少児)」

## さつまいもをしました

5日(水)は、全園児でさつまいもの収穫をしました。田んぼ・畑の活動でお世話になっている地域の方に、掘り方のご指導やお手伝いをいただきました。前日から当日の朝にかけて雨が降ったので、みんな子ども用の軍手をはめ、準備万端。まずは、学年ごとに芋づるを引っ張っての芋ほりをすることにしました。友達と一緒に芋づるを引っ張りますが、今年のお芋はなかなか抜けません。「かたいなあ・・・」「お芋と綱引きだね、がんばろう!」と力を合わせて、「うんとこしょ! どっこいしょ!」と引っ張りました。結局、お芋は出てこなくて手で掘ることにしました。一生懸命土を掘って、お芋の頭を見つけるとお芋を傷つけないように、まわりの土を掘っていきました。次々と掘ることができ、「見て! 大きいお芋がとれたよ」「まあいい形だね」「赤ちゃんお芋もあったよ」と、気づいたことや感じたことを表現しながら大喜びで芋ほりをしました。

たくさんとれたお芋は、今回も年長児が何個あるか数えることにしました。「どうな風に数える?」という担任の問いに、これまで玉ねぎとジャガイモの数を数えた経験から、「どうやら10個ずつのかたまりにすると、数えやすい」ということに気付いてきたようで、「10個ずつ集める」とみんなが言いました。すると、「さつまいもはいろんな形があるから、大きいのと中くらいのと小さいのを分けて並べたらいい」「そうだね、一緒にすると分かんなくなっちゃう」「10個のかたまりにしていく」と、いろいろな意見が出ました。そこで、大中小それぞれ自分が数えたい大きさを決めて数えて、並べていきました。その様子を見てみると、1個ずつさつまいもを持ってきて1列に並べる子、ある程度並べてみてそこで数えて「あと何個」と持ってくる子、お芋が入っている箱の近くで10個数えてから所定の場所へもっていく子、自分の並べたお芋を指さして「1個、2個・・・」と数える子・・・。さつまいもを10のかたまりにするアプローチは様々でしたが、みんなが10個ずつ数え、大きさに別に分けることができました。そして最後は、10のかたまりが何個あるか先生と一緒に数えました。「園長先生、さつまいもの数を数えました。233個ありました」と報告にきてくれました。年中・年少組へも知らせに行ったようです。その顔は、自分達でやり方を考え、全部の数を数えることができた満足感と誇らしさであふれていました。

収穫したさつまいもは、2個ずつお土産に持って帰り、残りは11月の収穫祭の料理や誕生会のおやつにして、美味しくいただく予定です。



「お芋と綱引きだ(年少児)」 「まあいいお芋が出てきたよ(年中児)」 「お芋の数を数えよう」「10個ずつね」「1・2・3・・・」(年長児)

## 園内でオリエンテーリングをしました

13日(木)の、一の谷遠足でオリエンテーリングを楽しむ計画を立てています。いきなり一の谷公園でオリエンテーリングをすると混乱するのではと思い、まず園内でオリエンテーリングをすることにしました。運動会のチームを2つに分けて6チーム作り、ハロウィンチームやつきチームなどの名前も決まりました。さっそく6日に、「玉入れ」「宝探し」「サーキット」「星つり」の4つのミッションをクリアして、最後にご褒美シールをもらうというオリエンテーリングをしました。チームに分かれて最初にやり方を説明した後は、子ども達に任せてみました。すると、最初は見事にバラバラ! 早く遊びたくて走り出してしまう年少さんを、年長さんが「こっちだよ」「あれ、〇ちゃんがない」と探したり、どこに行っているかわからなくて涙が出たり、チームの仲間とはぐれたり・・・。それでも時間が経つうちに、2人ずつ手をつないだり、チーム全員で手をつないだりする姿が見られるようになりました。どうやら、手をつないでおくと離れ離れにならないことが分かったようです。チームで一緒に玉入れをしたり、星釣りをしたりして楽しんだり、シールをもらって喜んだりする姿が見られました。全部のチームがそれぞれのミッションをクリアし、遊戯室に集まることができました。「最初はバラバラだったけど、だんだんみんなで動けて良かった」「手をつないで歩くとわかりやすかった」「チームの友達と玉入れをして楽しかった」と、チームで取り組む楽しさや難しさを味わったようでした。



「チームのみんなにカードを配ろう」 「星つり、楽しいね」 「あれ?〇ちゃんがないよ」 「手をつなぐと離れ離れにならないね」